TSUNAGARU FUKUI

福井県産業界2024

北陸新幹線が金沢―敦賀間で延伸開業して、はや３カ月。実物大ティラノサウルスを模した恐竜ロボットなどが来訪者を出迎え、商業施設もリニューアルした福井駅（福井市）では、３時間圏内となった首都圏からを中心に多くの観光客や市民でにぎわっている。各観光地も同様で、県内企業の景況感も改善する中、延伸効果を一過性に終わらせないためにも、〝ストロー現象〟に警戒しつつ、魅力あふれる街づくりと経済活性化、地場産業の成長とイノベーション、宇宙ビジネスなどの新事業拡大が期待される。

北陸新幹線 福井まで延伸

関東からアクセス良好

北陸新幹線が福井開業

福井県では3月に同県敦賀市までつながった北陸新幹線の延伸開業効果が続いている。関東圏からのアクセスが飛躍的に良くなり、観光客やビジネス客が増えたほか、中小企業からは「関東圏の人材採用が久しぶりにできた」といった声も聞かれる。

インバウンド（訪日外国人）需要が取り込めていないなど課題もいろいろあるが、商業施設が充実した福井駅周辺（福井市）をはじめ、県内に点在する観光地もにぎわい、延伸前と異なる風景が広がる。

2015年に北陸新幹線が長野―金沢間で開業して以降、北陸では観光客獲得などで金沢市の独り勝ち状態が続く。今回の敦賀延伸から3カ月間の福井について地元経済界からは、「ここまでは想定内。どう継続するかが課題で、金沢の成功例を見習うべきだ。外国人観光客が少なく、そこも含め盛り上がりを作っていきたい」といった意見が聞かれる。

幸福度が高いとされる福井県だが、他地域同様に人口減少には歯止めがかかっていない。交通インフラ整備は、地方から人や産業が大都市に吸い取られるストロー現象を引き起こす可能性がある「もろ刃の剣」で懸念の声も多い。人手不足は全国的な問題で、県内では新幹線と県内各地をつなぐバスやタクシー業界などの事例が特にクローズアップされ、深刻度も増している。

効果継続が今後の課題に

福井駅前のティラノサウルス（恐竜ロボット）

少子高齢化や人口流出、人口減少に、春からの残業規制もあって減便などの動きが顕著で、ライドシェアなど、官民一体の対応が注目される。悲願の延伸開業が実った今、地域の魅力アップや経済活性化、働きやすく住みやすい社会づくりが従来以上に求められる。

新たな基幹産業創出へ

一丸となり宇宙に挑む

福井県で宇宙産業が盛り上がっている。セーレンをはじめとした福井県内の企業などで構成する「ふくい宇宙産業創出研究会」は、超小型衛星の秋ごろの打ち上げを目指し急ピッチで準備を進める。福井工業大学では月周回軌道衛星との通信を可能とするパラボラアンテナをキャンパス内に新設した。宇宙産業を県の基幹産業に育てるため、産官学がそれぞれの強みを生かし、一丸となって宇宙（そら）に挑む。

福井県が宇宙産業の振興に乗り出したのは2015年ごろ。メガネや繊維に並ぶ県の新たな基幹産業創出で、注目したのが宇宙だった。県内企業や大学などを巻き込み〝リフトオフ〟した一大プロジェクトで、県内企業が連携して製造した県民衛星「すいせん」は21年に打ち上げに成功、自治体主導で宇宙ビジネスに取り組む国内初の事例にもなった。

そんな福井の産官学が、次のステップとして挑んでいるのが「ふくい衛星運用ネットワーク構築（FUSION）プロジェクト」。ふくい宇宙産業創出研究会が取り組んでおり、プロジェクトを通じて衛星との送受信や、衛星から取得した画像データを使いやすい形式に加工し、利活用するといった衛星運用技術の習得を目指している。従来、県内企業だけでの運用実績はなかったが、プロジェクトのために新開発した超小型衛星を10―11月に打ち上げる予定で、準備を着々と進める。

セーレンが開発した人工衛星

産官学プロ商機

産官学プロジェクトを商機と捉え、自社の事業成長にもつなげるように動く企業もある。同研究会の取りまとめ役であるセーレンもその内の1社で、同社は内装材やエアバッグなどの自動車向け製品を主力とするが、衛星の開発・製造能力も持つ異色の総合繊維メーカーだ。独自の染色システム「ビスコテックス」をはじめ、「繊維機械などを内製化する技術力が、衛星の開発・製造を可能にした」（中村博一セーレン研究開発センター人工衛星グループ長〈技術統括〉）。これまで同社が開発・設計に携わり、打ち上がった衛星の数は6基となる。

目指すのは超小型衛星の受託開発・製造の事業化だ。同衛星の量産などを依頼する顧客は既に2社あるという。宇宙産業が成長途上にある中、同事業内容で複数の顧客がいる企業は「国内で唯一」と中村グループ長は胸を張る。

メッセージ

福井県知事 杉本 達治氏

付加価値づくり強化

福井県は3月16日に悲願であった北陸新幹線の福井・敦賀開業を迎えました。関東圏をはじめ、全国から来訪者が大幅に増加し、主要観光地の入込者数、宿泊施設・2次交通・商業施設などの利用状況も好調で、開業効果が随所に現れています。この効果の持続と県内各地へ拡大させることが重要で、まちづくりや観光地の磨き上げを官民一体で進め、投資の呼び込みや人材誘致につなげてまいります。

本県は日本一の「幸せ実感社会」実現を将来像とする「ふくいNEW経済ビジョン」で、リスキリングや働き方改革など、リスクを恐れない人への投資促進に加え、「付加価値づくりの強化」も掲げました。ふくいオープンイノベーション推進機構が中心となり、「宇宙」「炭素繊維」「ヘルスケア」「AI・IoT・ロボット」「脱炭素関連技術」を重点分野に技術開発プロジェクトを進めています。

昨年開所の産業技術総合研究所北陸デジタルものづくりセンター（福井県坂井市）と連携し、地場産業の繊維産業や金属加工業など、ものづくりを高付加価値化する研究開発も進めています。

本県のものづくり技術を生かしたイノベーションや新事業への挑戦を後押しすることにより、高い付加価値を創出する産業集積を目指していきます。

福井商工会議所会頭 八木 誠一郎氏

産業交流促進 イノベ創出

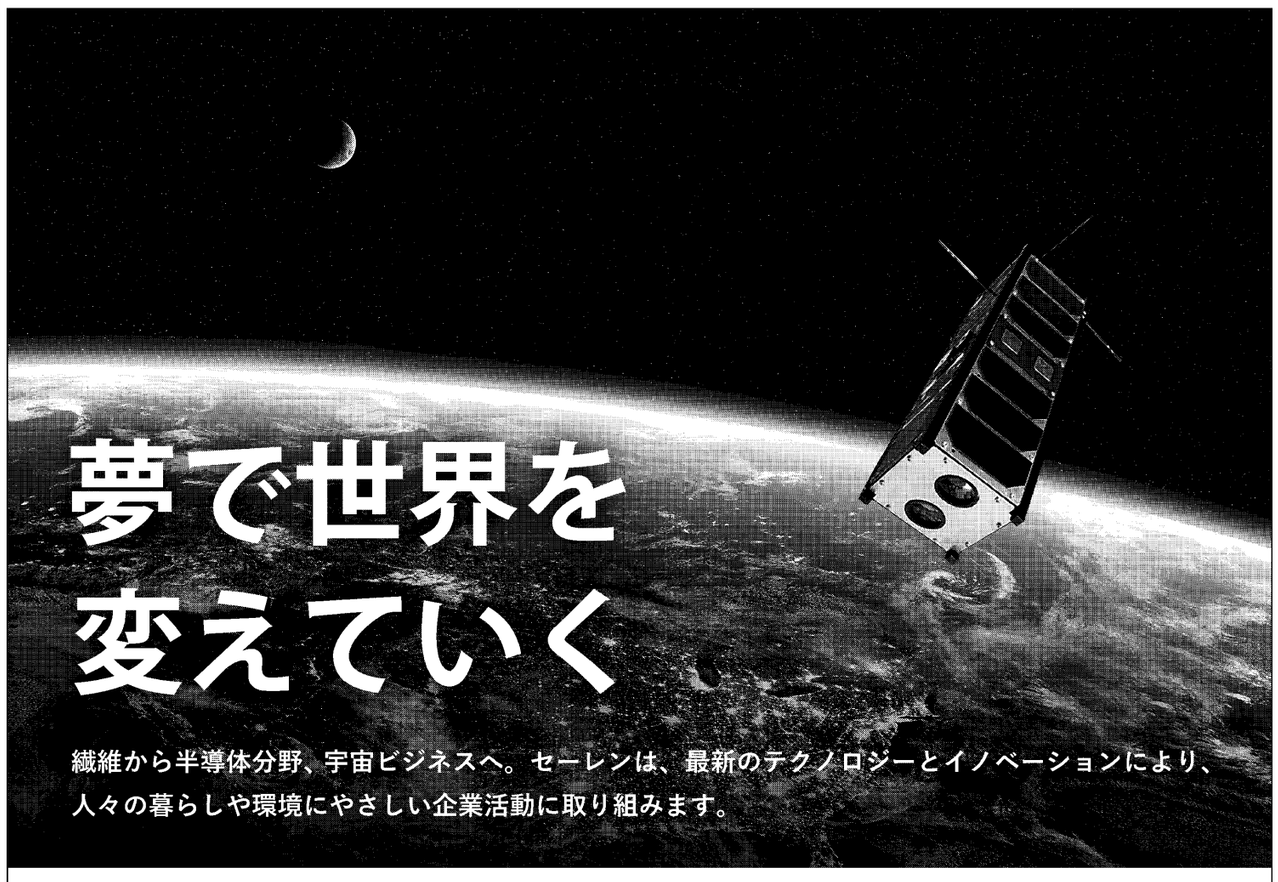
3月の北陸新幹線延伸開業により、福井県は首都圏・北信越・関西・中京エリアと高速交通ネットワークでつながる日本海国土軸の中心として、交流人口の増加や市場の拡大など、経済・企業活動が活性化する大きなチャンスを迎えています。

キラリと光る特徴ある技術を持った製造業が県内には多数立地し、福井商工会議所ではこのチャンスを生かして、本県の技術や現場を他地域の皆さまにリアルに見てもらえる機会をつくっていきたいと思います。そして、さまざまな知恵との融合を図り、化学反応を起こすことで、新たなビジネスやイノベーションの創出につなげていけるよう活動していきます。

その一環として、福井商工会議所では全国の優れた製品・技術が福井に集結し、技術交流を行う「北陸技術交流テクノフェア」を毎年開催しており、今回で35回目を迎えます。特に今回は、北陸新幹線沿線地域との技術連携や経済的な結びつきを強化するため、沿線商工会議所に所属するものづくり企業を誘致し、産業交流の促進に取り組んでいきます。

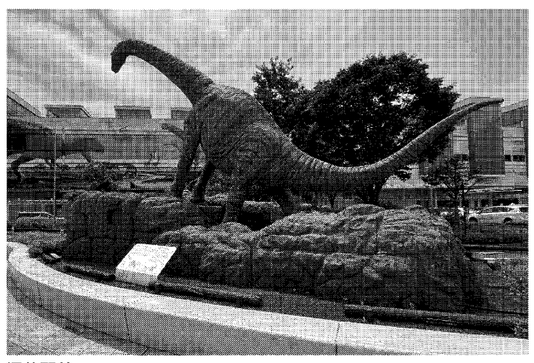
福井県はチャンスにあふれており、一層の産業発展と地域経済の活性化に向けて、福井県、市町自治体、経済界が一体となり、チーム福井で取り組んでいきたいと思います。

KIYOKAWA PLATING INDUSTRY CO.,LTD.
KIYOKAWA
KIYOKAWA Plating Technology
清川メッキ工業株式会社
http://kiyokawa.co.jp
〒918-8515
福井県福井市和田中1丁目414
TEL.0776-23-2912
FAX.0776-21-7402

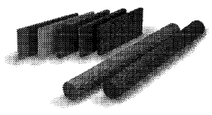


セーレン https://www.seiren.com 世界 42 拠点でグローバル展開
東京本社／東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 TEL.03-5411-3411 福井本社／福井市毛矢 1 -10-1 TEL.0776-35-2111

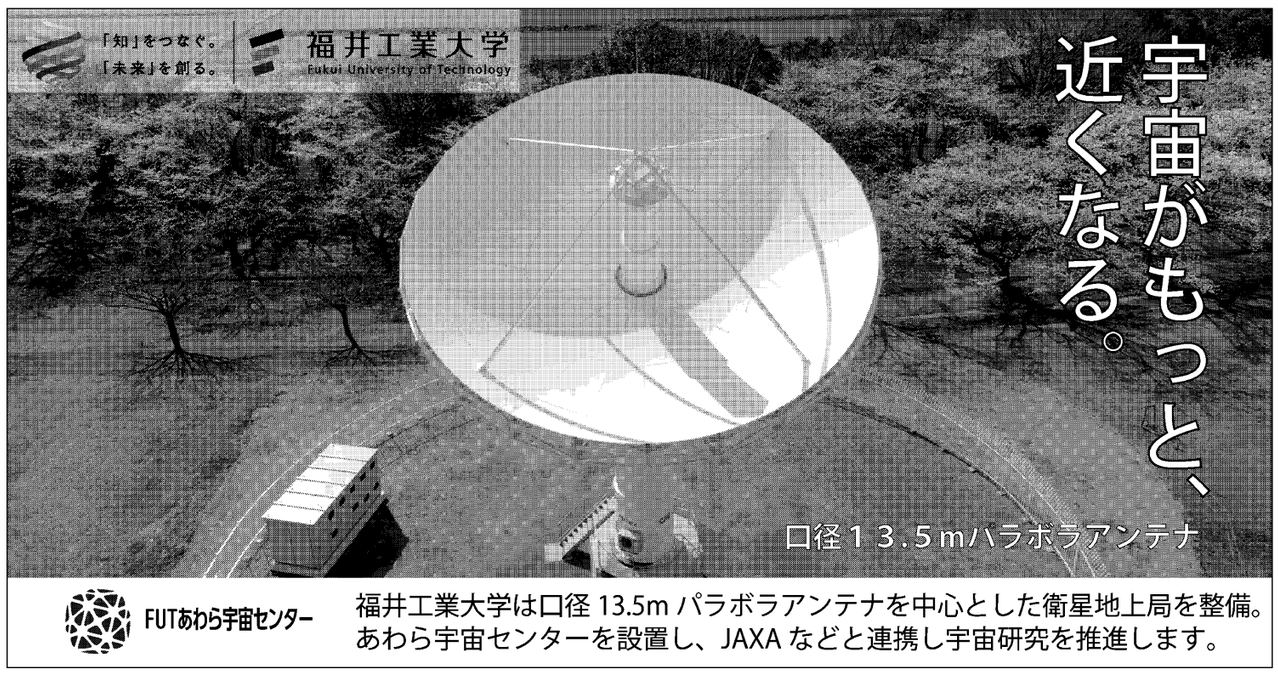
前田工繊
福井本社：福井県坂井市春江町沖布目 38-3
東京本社：東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 12F


福井駅前

人間が人間らしく
安心して暮らせる
インフラを皆様に


プラスチック製擬木
プラ擬木

HP
― グループ会社 ―
未来のアグリ株式会社
株式会社 釧路ハイミール
未来テクノ株式会社
BBSジャパン株式会社
沖縄コーセン株式会社
未来コーセン株式会社
株式会社 セブンケミカル
(旧 Twitter)



新たな動き見せる〝知の拠点〟

宇宙分野の研究開発と産業創出、社会課題解決、教育、人材育成で「知の拠点」が果たす役割は大きい。今年は新たな動きも―。

口径13・5㍍、月探査機運用支援

福井工業大学があわらキャンパス（福井県あわら市）に月探査機と通信でき、大学や民間では国内最大級となる口径13・5㍍のパラボラアンテナを新設した。アンテナは用途に応じて多様なサイズがあり、宇宙事業に注力する同大のアンテナは4基目。新アンテナは月探査用途に最適サイズで、通信と月探査機の運用支援の安定化が見込め、地球から200万キロメートルまでの近宇宙をカバーする。

新アンテナはまず、2025年度に宇宙航空研究開発機構（JAXA）が打ち上げる探査機「DESTINY＋（デスティニープラス）」の運用支援を行う計画。宇宙開発や国際的な月探査競争が激化する中、アンテナを持つ地上局は常に不足しており、JAXAとの共同研究や福井の宇宙産業発展への貢献が期待されている。

JAXAの口径64㍍や同54㍍、同34㍍などの惑星探査に適した大きなアンテナは月探査ではオーバースペック。新アンテナの完成で、サイズに応じた役割分担がしやすくなるという。

福井工大が新設した口径13.5㍍のパラボラアンテナ

技術実証通じ開発期間短縮

福井大学や関西大学などで構成する研究グループが、エネルギー技術実証超小型衛星「DENDEN―01」を開発した。関西大の電源温度安定化デバイスなどを載せており、電源・エネルギー技術の軌道上実証を行うため、9月に米国から打ち上げ、10月に国際宇宙ステーション（ISS）から放出する。

同衛星は福井大とセーレンが共同開発した学習用超小型衛星「EDIT」がベース。県内企業も協力して、1年半の短期間で完成したことも特筆に値する。福井発の技術が日本の宇宙産業発展に貢献した好例といえる。

EDITのコンセプトは「宇宙で動く衛星教材」。宇宙で実績がある部品を多数用い、福井大、ふくい宇宙産業創出研究会などによる人工衛星開発技術の教育プログラムに利用しているが、EDITベースで実際に宇宙で使える衛星フライトモデルの開発は今回が初めて。学習用からフライトモデル完成への事例ができたことで、福井の宇宙産業のさらなる発展が期待される。

エネルギー技術実証超小型衛星「DENDEN―01」

インタビュー

福井工業大学 学長　**掛下 知行氏**

―宇宙関連の教育や研究活動に力を入れています。

「月探査機の運用支援を目的とするパラボラアンテナを、キャンパス内に新設した。2025年、JAXA（宇宙航空研究開発機構）が打ち上げ予定の探査機『DESTINY＋（デスティニープラス）』の軌道予測やデータの送受信に活用する。また、米主導の国際月探査計画『アルテミス計画』関連での活用も期待している。宇宙関連のインフラはある程度整備できた。今後それらを運用し、インフラの維持・改修費などを自前で調達できる体制を構築していく」

―「教育面では、25年から工学部電気電子情報工学科の『電気システムコース』の名称を『電気電子コース』に、『電子情報コース』は『AI情報宇宙コース』へと変更する。世相を反映した学習内容とコース名への変更が目的で、宇宙関連の研究ができることを対外へ明確に示すのも狙いだ。『福井工業大学＝宇宙』というブランドをより強調する」

―北陸新幹線が来ました。

「東京と福井の距離が近くなったと感じる。関東には天文クラブのある高校が多い。そういった高校の生徒に、本学の魅力を発信するのは良いかもしれない」

宇宙研究のブランド明確化

インタビュー

福井大学 学長　**上田 孝典氏**

―北陸新幹線が敦賀まで延伸しました。

「大学の志願者数が1年おきに増減を繰り返す『隔年現象』を踏まえる必要があるため、福井大の志願者数への影響検証はこれから。新幹線延伸が志願者の増減のどちらの方向に作用するのか見極めつつ、学生確保の戦略を立てる。そもそも少子高齢化が進む中で、魅力ある受験方法の打ち出しも必要。学生数が最も多い工学部は来年度入学者の選抜から『女子特別枠』を設け、女子学生の確保を図る」

―繊維産業の環境負荷低減を目指し、共創拠点を建設中です。

「水を大量に使う繊維産業は環境負荷が大きいため、水の代わりに二酸化炭素（CO2）で染色する『超臨界流体染色』を研究している。この技術を使った（洋服などの）製品化で企業や学生が集まり相談できるスペースとして、新研究棟を活用する。単なる箱物ではなく、自由な議論を促せる設計にする予定だ」

―産官学で宇宙産業創出を目指します。

「小型人工衛星の開発には複雑な技術が必要で、優秀な技術者が多い福井県にぴったりだ。人工衛星が打ち上がる時は、県民全体が応援してくれる。県全体を元気にしてくれる産業だと考えている」

学生確保へ工学女子枠新設

PURPOSE
企業の未来を支えていく。
日本を変化につよくする。
商工中金
福井支店 0776(23)2090
〒910-0005 福井市大手3-14-9

機械器具設置工事業・一般貨物自動車運送業・クレーン建設揚重業
梱包事業・倉庫保管事業・あと施工アンカー事業・産業廃棄物収集運搬
株式会社エフクイ
〒910-0102 福井市川合鷲塚町57－1
TEL:0776-55-1133 FAX:0776-55-1305 https://www.fyuk.co.jp/

国内唯一のタイヤサービス機器メーカー
ONODANI 小野谷機工株式会社
本社/〒915-0801 福井県越前市家久町63-1
TEL. 0778-22-2124 FAX.0778-24-5533
https://www.onodani.co.jp

イノベーション・新事業創出に向けて

人口減少問題など意見交換

全国の企業経営者らが一堂に集い、その時々の経済・社会課題などについて意見交換し、学び、交流する第36回全国経済同友会セミナー（福井大会）が今春、福井県で初めて開催された。約1200人が参加し、人口減少問題などで活発な議論が交わされたほか、新幹線福井開業で県内各地が盛り上がっているタイミングということもあり、開催地の福井経済同友会は福井の魅力、食や文化を含めた発信にも力を入れた。

同セミナーは全国44の経済同友会で共催し、今回の総合テーマは「どうする！人口減少NIPPON〝幸福度日本一〟の地で考える」とした。福井市内の2会場で、2日間にわたって議論を深めた。

パネルディスカッションでは、日本が直面する人口減少社会の現状や課題が示されたうえで、企業経営の在り方やエンゲージメントの重要性が指摘され、福井銀行のウェルビーイング経営の取り組みなども紹介された。地域創生のセッションでは働く女性が増える一方、家事や育児が女性に偏り、女性のゆとり時間が少なくなっていることや、福井県の子育て支援の取り組み事例などが共有された。

角元敬治関西経済同友会代表幹事（当時、5月で任期満了）は「人口減少はこれまでの慣習、言動の結果。我々の常識を見つめ直し、問題解決の先鞭（せんべん）をつけなければならない」と総括。清川肇福井経済同友会代表幹事は「即効性のある解決策はないが、福井ならではのものを打ち出していきたい」とした。

福井で初開催された「全国経済同友会セミナー」

ウエアラブルデバイス実証

福井県で初めてとなる都市型フルマラソン大会「ふくい桜マラソン2024」が3月末に開催され、国内外から1万3000人超のランナーが参加し大いに盛り上がりを見せた。同大会では、県内企業などが開発したランナーの運動量や走り方の特徴を見える化するウエアラブルデバイスの実証試験も実施。地元企業が協力して生み出した新技術が社会実装できるのかを、福井県初のフルマラソン大会を実証の場として確かめた。

メガネの企画・生産会社ボストンクラブ（福井県鯖江市）と音響機器を手がけるオーディオテクニカフクイ（同越前市）、福井県工業技術センターが協力して開発した、「マラソンランナー向け拡張現実（AR）グラス」の実証試験を行った。心拍数や走行時間、走行距離をレンズ前面に配置したディスプレーを通して見ることができる。このため、ウエアラブルデバイスとして一般的な腕時計タイプのものと比べ、フォームを崩さずにペース管理できる利点があるという。25年の大会でも形式を変えて、性能などを実証する予定だ。

また同大会ではランニング時の体の動きをモニタリングし、走行後にケガ予防や走り方改善につながるようなデータをフィードバックするウエアラブルセンサーシステムと、その動きを解析する人工知能（AI）技術の実証も行われた。25年の大会からの本格的なサービス開始を目指す。

ボストンクラブなどが開発したマラソンランナー向けARグラス

デジタル導入支援・人材育成

労働人口が減る中で企業が持続的成長をするには、デジタル技術を活用したデジタル変革（DX）推進などによる生産性向上がカギを握ることから、自治体や公的団体、民間企業によるデジタル化を推進する枠組み「ふくいデジタル推進アライアンス」がスタートした。県内企業のデジタル活用を促進し、業務高度化と人材育成を図り、地域経済を活性化するのが目的。促進に向けた情報共有や発信、デジタル導入支援、人材育成などに取り組む。

県内中小企業ではDXなどへの関心が高まる一方で、デジタル人材や知識の不足、資金面の問題をはじめ、さまざまな理由でデジタル化への積極投資が進んでいないという。人手不足や原材料の高騰など、企業を取り巻く環境は厳しさを増しているが、技術の急速な進展から〝デジタルの力〟で解決できる課題も増えている。

業務の効率化や生産性の向上、高付加価値化は、いつの時代も企業の成長に不可欠なテーマだ。これまで個々にDX化を支援してきた自治体や公的団体、民間企業などが連携してセミナーや相談会などを開き、まずは啓発活動、機運醸成から進めていく。

ふくいデジタル推進アライアンスは、福井県、福井県商工会議所連合会、福井県商工会連合会、福井新聞社、ふくい産業支援センター、福井銀行などで構成。それぞれが得意とする分野で役割を担い、幅広い企業、業種にデジタル化を働きかけていく。

ふくいデジタル推進アライアンスがスタート

もっと、アナログになっていく。
audio-technica
株式会社オーディオテクニカフクイ
代表取締役　松下　和雄
〒915-0003　福井県越前市戸谷町87-1
TEL:0778-25-6700　FAX:0778-25-6702

国交省登録講習機関／一等・二等無人航空機操縦士
JSB プロフェッショナルドローンスクール
https://pro-drone.jp
日本システムバンク株式会社

精密溝加工でお困りではありませんか？
MA TOOL CO.,LTD.
難削材用超硬ソリッドメタルソー
SHARP SAW DMX
ステンレス、チタンがサクサク斬れる！
SUSの溝加工にて送りスピード3倍
2.5～3倍の刃先寿命！

株式会社　エムエーツール
〒918-8188　福井県福井市三尾野町1-1-18
Tel 0776-33-7580　Fax 0776-33-7270
e-mail info@matool.jp
HP www.matool.jp